

後援会だより

札幌大学後援会広報誌

Vol.63

発行／札幌大学後援会事務局 発行日／2025年3月31日 〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1札幌大学内 TEL(011)852-9749(直) <https://koenkai.sapporo-u.ac.jp>

CONTENTS

- 1面 学生ボランティア団体「SU-kip」活躍中！
- 2面 学生活動報告／就活生インタビュー
内定者レポート／公務員対策
- 3面 北海道議会との意見交換会を実施
- 4面 課外活動補助／キャンパスカレンダー
保護者懇談会



このように、札幌大学の魅力は一つではありません。人によって捉え方はさまざまで、それだけ本学が多くの魅力にあふれていると言えるでしょう。オープンキャンパスでは、SU-kipのメンバーの数だけ、その魅力が語られています。

副リーダーの後藤さんは、今年度の経験を踏まえて、ボランティアの枠を超えた活動をしていきたいと考え、次年度は所属するゼミからもオープンキャンパスに参加する予定。そこで、企画されているのが、「札幌の公式キャラクターを作る」こと。「公式キャラクター」を考案し、グッズも作る計画です。缶バッジができれば、高校生はもちろん、教職員やSU-kipのメンバーにも付けてもらいたいのです。公式キャラクターとして、札幌の認知度をアップしていきたい」と、目を輝かせていました。



「札幌大学を見たい、知りたい」という高校生が全国各地から訪れるオープンキャンパス。開催は年に5〜7回ほど。札幌の学び方や施設見学など、どの回に参加しても、体験できる定番のプログラムはもちろん、複数回参加する高校生にも、より理解を深めていける多彩なコンテンツを用意しています。SU-kipは当日、高校生や保護者の方を受付でお迎えし、『ウェルカムガイドランス』をはじめ、『キャンパスツアー』、『体験授業』、『札幌生と話そうコーナー』といったコンテンツの案内や運営、進行するのが主な役割。メンバーは万全の準備を行うため、入試・広

多彩なコンテンツで高校生を歓迎

藤田 雄輝さん(経営学専攻3年生)
後藤 彩花さん(経営学専攻2年生)
木浪 大智さん(経済学専攻2年生)
石垣 蓮さん(英語専攻1年生)
近江 心愛さん
(日本語・日本文化専攻2年生)
佐藤 楓さん(法学専攻1年生)

●インタビュー参加者

パンフレットやWEBだけでは伝えきれない大学の雰囲気や学びを、実際に体験することができる「オープンキャンパス」。ここ数年、大きな盛り上がりを見せています。今回は「高校生に札幌大学の魅力を伝える」を合言葉に、オープンキャンパスで活躍する学生ボランティア団体「SU-kip」の学生たちにお話を伺いました。

高校生と大学を繋げるボランティア団体『SU-kip』、『オープンキャンパス』で活躍中!!

スキップ

報課と密接に連携し、開催日の数ヶ月前から、打ち合わせを重ね、プログラムの企画にも携わっています。リーダーの藤田さんは、「現役学生である私たちが高校生を案内するというのが、札幌オープンキャンパス最大の特徴です。年齢が近いので、交流する中で、お互いの理解を深めていきたいと思っています。当日話す言葉や行動にマニュアルはありません。先輩として自らの経験談を交え、自然体で話すようにしています」と言います。

今年度、『キャンパスツアー』を担当した木浪さんも、「単に各施設を案内するのではなく、心の交流を大切にしたい」と言います。きっかけとなる言葉を事前に用意し、「出身高校はどこ?」「希望の専攻は?」といったやりとりをしながら、相手の考え

方や趣向を探り、授業の内容や部活動の紹介など、その人にとって適切なアドバイスができるように工夫をしています」と語ってくれました。

石垣さんは「札幌生と話そうコーナー」を担当。「専攻の選択や授業内容に関する質問に答えられるように、事前に勉強していますが、実際には友人関係の悩みや生活面の不安など、大学に関すること以外の相談をして

くる高校生もいます。これも、表面には出ないSU-kipの活動の一環だと思い、誠意をもってアドバイスしました。今年度はコンテンツの司会等、大勢の人の前で話す仕事も担当したのですが、台本は用意せず自分なりの言葉とアドリブで、親しみやすい雰囲気づくりを心掛けました」と笑顔。

メンバーが考える札幌の魅力とは?

SU-kipの活動目的は「高校生に札幌の魅力伝える」ことです。メンバーの皆さんが捉えている札幌の魅力とは何でしょうか。

次年度も、意欲的な取り組みを展開



後列左から 石垣さん、木浪さん、佐藤さん
前列左から 藤田さん、後藤さん、近江さん

入試・広報課からの指示だけでなく、私たちの方から、新たなコンテンツを提案してもっともっと魅力のあるイベントにしていきたいです。SU-kipとともに、オープンキャンパスの運営にあたる入試・広報課職員の輪島さんは、「札幌の魅力はなにか」という問いは、入試・広報課でも考えてきました。突き詰めていくと、やはり学生さんですね。生き生きと学ぶ中で活動の幅を広げる学生こそが札幌の財産です。今年度のメンバーはSU-kipの活動以外にも、ゼミやクラブ、アルバイトなど、さまざまな活動

に励んでいて、そこで得た情報や学んできたことをオープンキャンパスの企画としてどうかと、積極的に提案してくれるようになりました。これは、ここ数年の大きな成長で、本当に頼もしい団体になってきました。今後SU-kipと入試・広報課が一丸となって、大学の魅力を発信していきたいですね」と、語っていただきました。

近江さんは、「課外活動をもっと紹介していきたい」と言います。「優秀な成績をおさめているクラブやサークルを紹介することによって、札幌を希望する高校生が増えるのでは」と期待しています。

副リーダーの後藤さんは、今年度の経験を踏まえて、ボランティアの枠を超えた活動をしていきたいと考え、次年度は所属するゼミからもオープンキャンパスに参加する予定。そこで、企画されているのが、「札幌の公式キャラクターを作る」こと。「公式キャラクター」を考案し、グッズも作る計画です。缶バッジができれば、高校生はもちろ

令和6年度学生生活活動報告会 in みらい共創スクエアを開催！

令和6年10月30日（水）・31日（木）、「令和6年度学生生活活動報告会inみらい共創スクエア」を開催しました。

本学では、学生社会人基礎力向上のために「札幌大学インターンシッププログラム」を展開し、インターンシップや仕事体験、地域おこし協力隊への参加などの活動を数多く紹介しています。

今回の報告会は、これらの活動で経験したことを振り返り発信することで、より深い学びを得ることを目的として開催し、「ムカワカレッジ」「インターンシップ」、併せて同時期に行っていた「能登半島地震の震災ボランティア活動」に参加した6名の学生が報告しました。

報告会には、受入先関係者、在学生や教職員など延べ25人が参加しました。参加者からは「今後の活動の参考になりました」「改めてボランティアの必要性や震災がどういいうものなのかを認識できました」などの感想や、受入先関係者の方から「インターンシップを通じて学生のみ

なさんが感じたことを知る良い機会でした」「学生の皆さんが準備をして、緊張しながらも臨んでいる姿に感心しました」などの声が寄せられました。

報告を行った学生からも、「活動を通して、社会人としての自分を想像することができた」「活動を機に、周囲や先を見

据えた判断を意識するようになった」などの発言があり、今回の報告会は社会人としての在り方や必要なスキル、今後の就職活動に繋がる学びが得られたことを自分自身で再確認できる機会となりました。



左から、遠藤太一さん（経営学専攻2年生）、尾形結菜さん（リベラルアーツ専攻1年生）、工藤七星さん（歴史文化専攻3年生）



左から、中村心咲さん（経営学専攻3年生）、山本裕介さん（経営学専攻3年生）、上北陽大さん（経営学専攻3年生）

【就活生インタビュー】 早期に志望業種・企業を決め、積極的に就職活動をしています

井原 あおいさん（リベラルアーツ専攻3年生）

父が不動産関連の会社を経営し、兄もそこで営業職として勤務していることもあって、幼い頃から不動産業界の実態を身近なものとして目にしてきました。そんな背景もあって、私も高校在学時には「将来は同様の仕事に就きたい」という目標を抱いていました。その際、父から「不動産関係に進むにしても、それに固執しない広い視野を養いなさい」というアドバイスがあり、幅広く学べる札幌大に入学しました。2年次からは、国家資格の『宅地建物取引士』の勉強を始め、取得することもできました。これをPRポイントに企業情報の収集にも励み、大手不動産

流通企業に目標を絞って就職活動をしています。特に、志望企業で就業体験ができたことは貴重な経験となりました。ここではグループワークとして、社員の方が顧客を演じ、接客業務を体験しました。具体的には、ヒアリングを通じて相手のニーズを聞き出し、適正な提案を行うというもので、実際の仕事の難しさを感じられました。それでも、私という個人を大切にいただける組織風土や職場環境がとても魅力でしたので、「ここで働きたい」という自分自身の意思を確認することもできました。これもインターンシップの大きなメリットだと思います。

現在は二次試験を控え、研鑽を積んでいる最中です。次の面接ではアルバイトで培った現場対応力をPRポイントにしようと思っています。そして、晴れて入社が実現しましたら、社会人として責任感のある人間になりたいと思っています。私自身、まだまだ就職活動中ですので、有益なアドバイスができるかわかりませんが、これまでの経験から言えることは、やはり早期に目標を定めることが、成否を左右する重要な要素だと言うこと。本学では合同企業説明会が数回開催されていて、多くの企業研究ができるようになっていきます。

まだ志望を決めかねている方には、積極的に参加されることをお勧めしたいです。



内定者レポート

法学専攻4年生

高橋

希武さん

挑戦を諦めない

私は大学入学時から公務員になりたいという目標があったため、1年生の頃から公務員養成コースや、学内でLEC東京リーガルマインドが行っている公務員講座を受講していました。

大学生活では弓道部での活動に力を入れ、主将も任せていただき多忙な日々を送っていたため、3年次のオフシーズンに入るまではインターンシップや説明会なども参加せず、オフシーズンに入ってからようやく受験先を決めていったという経緯でした。

私の就職活動は、公務員試験を専願として進め、最終的に合計7つの合格をいただくことができました。ここまでの成果を上げることができた要因を紹介させていただきます。

まずは、弓道部での活動です。コロナ禍での活動休止期間やそれに関連した壁に次々衝突し、苦しい想いもたくさんしましたが、仲間と協力し成し遂げたことや主将として挑戦した各取り組みなど、いわゆる『ガクチカ』というものは部活動から取り上げることが多かったです。こうして本気で取り組んできた弓道部で

の活動を就職活動で評価をいただけることは、50年以上代々受け継いできた札幌大弓道部の一員として非常に嬉しく思います。

次に、公務員になりたいという強い意志を最初から最後まで曲げず取り組んだことだと思っています。父が公務員である家庭環境から、私も同じように公務員として働きたいという憧れがあり、そのために学内講座を受講してきました。学内講座では、公務員試験に必要な基礎から応用までの学習科目の他、面接対策やES添削など幅広くサポートしていただきました。札幌大の公務員講座無くして私の就職活動の成果は無いといっても過言ではないと思います。部活動の練習やアルバイトもある中、勉強する習慣と環境を与えてくださったことで最後まで諦めず、コツコツと取り組むことができました。

そして、大学でのゼミナール活動も大きな要因であると思います。私は2年次から武岡岡子先生のゼミナールに所属しました。ゼミナールを選ぶ際、主に行政（地方自治）について専攻するゼミで公務員志望の学生が多く集まるという募集要項に惹かれ、応募しました。実際のゼミナール活動では、日頃から地方自治やまちづくりに関する研究や討論を活動内容としており、地方公務員を志望していた私にとって、非常に有意義な時間でした。また、同じように公務員試験を受験する友達やゼミ内に多くいたこともモチベーションに繋がりました。公務員志望

の学生が多い札幌大ならではの強みだと思います。

最後に学生の皆さんに向けてです。4年間の学生生活が多忙を極める中、苦しくて逃げ出したいこともありましたが、私は常に目標に対する挑戦を諦めることなく全力で取り組んできました。その結果、4年目にして札幌大弓道部は14年ぶりに悲願としていた男子1部リーグに昇格することができました。公務員試験でも7つの合格をいただくことができ、自身の夢を叶えることができました。辛くて逃げ出すのは簡単ですが、そこで逃げずに立ち向かい、全力で戦ったものにしか見ることのできない景色は必ずあると思います。そしてその全力で戦った経験をしっかりと分析し、自己PRとして磨いていけば就職活動であなたの努力や苦労を認め、受け入れてくれる場所がきっと存在すると思います。

皆さんの挑戦が、良き結末を迎えることを心より祈っています。私も札幌大の卒業生としてその名に恥じぬよう社会人としてこれからも努力と挑戦を続け、精進していきたいと思います。



公務員試験合格者数136人！ 公務員志望の学生を支援しています！

今年度の公務員試験合格者数は延べ136人（令和7年1月24日現在）で、昨年度に比べ既に約1.4倍の合格者数となっています。

本学では、公務員志望の学生の支援に力を入れており、特に2020年からスタートした『公務員養成コース』では、公務員試験の専門科目の基礎を学ぶ「正課学修」、少人数指導や自学自習で個々のレベルに合わせて学習できる「公務員対策室」、専門の講師が基礎から応用まで指導する「外部講座」の3つの講座で、学生一人一人に合わせたサポートを行っています。今年度合格した学生の多くも、この『公務員養成コース』で試験対策に取り組んできました。

加えて、公務員経験者による面接対策や、様々な官公庁の担当者を大学に招いて仕事の概要や魅力等を聴く「公務員仕事研究セミナー」、官公庁のインターンシップの紹介なども実施しており、これらを通じて、学生が公務員の仕事への理解を深め、希望する職に就けるよう、総合的なサポートを行っています。



令和6年度公務員試験 合格実績

国家公務員 一般職	17人
北海道職員	36人
市町村職員	30人
警察官	33人
消防史員	12人
国税専門官	2人
国立大学法人等職員	1人
自衛官	5人
合計（延べ）	136人

（令和7年1月24日現在）



本学と北海道議会議員が 意見交換会を実施、さらに 初の試みとなる広報誌の作成を展開！

札幌大学と北海道議会は、北海道のさまざまな課題の解決や魅力ある地域づくりに、ともに尽力していくことを目的に、道内の大学で唯一、包括連携協定を締結しています。その取組みとして、北海道議会議員と本学学生による意見交換会が昨年12月11日に開催されました。

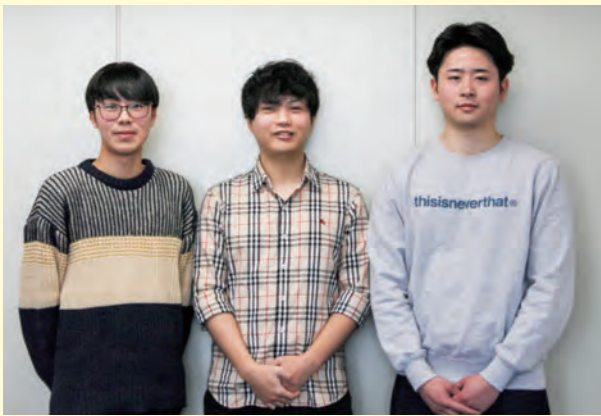
●インタビュー参加者

- 佐藤 歓典さん
(スポーツ文化専攻4年生)
- 佐藤 翼さん
(日本語・日本文化専攻4年生)
- 櫻井 陸人さん
(英語専攻2年生)
- 小笠原 はるの 教授
- 岩本 正姫 講師

体験格差を解消する、
「きっかけびと」を目指して…

今回参加したのは、異文化コミュニケーション学を学ぶ小笠原教授のゼミとスポーツ健康科学を学ぶ岩本講師のゼミ。小笠原ゼミは昨年度も参加しており、今回は2回目となりました。

小笠原ゼミから発表者のリーダーとなったのは、櫻井さん。今年は、「子どもたちの未来を作るきっかけびと」というテーマで発表が行われました。このテーマは、英



左から櫻井さん、佐藤翼さん、佐藤歓典さん

語を学び、海外留学をしたいという希望を抱きながら、夢を諦めかけていた櫻井さんの体験に端を発して設定されたといえます。

「小笠原先生と出会い、さまざまな制度や手段を利用することで、海外留学を実現する道筋が一つではないことを教わりました。先生は豊富な知識と自由な発想で、私の視野を広げてくれた、まさに「きっかけびと」でした。」

将来の夢や希望を描くためには、さまざまな「きっかけ」や「きっかけびと」の出会いが不可欠。しかし北海道では過疎化や移動手段など、さまざまな事情から、子どもたちの体験格差が生じています。小笠原ゼミの学生たちが自身の経験から気づいたのは、この体験格差でした。

そこで地域の児童館などで子どもたちに体験の機会と場を設ける取組を学生主体で実践しました。「ゲームやスポーツ、クラフト体験などを通して、子どもたちと交流することで、日頃接する機会の少ない私たち大学生だからこそ「きっかけびと」になり得ることを確信しました。」

意見交換会では、その実例を発表。議員の方々から大きな共感を得たそうです。確かな手応えを感じられたことから、今後も「体験格差」をテーマにした活動を継続していく決意を新たにしています。

空手エクササイズで高齢者と交流し、 地域を活性化

スポーツ健康科学を学ぶ岩本ゼミから発表を行ったのは、佐藤歓典さん。佐藤さんは、空手の基本動作を用いた健康づくりをもとに、地域の高齢者と交流する教室の開催を提案しました。これは佐藤さん自らの卒論のテーマとして進めていた研究でしたが、今回道議会の意見交換会場で発表することになりました。岩本先生からも「最適なテーマ」だとお墨付きをいただき、自信を

持って臨めたと言います。タイトルは「7020 community piece to peace 空手エクササイズ」。

「私はもともと空手をやってきましたので、その基本動作を用いて、高齢者の皆さんの健康な身体づくりができないかと考えました。きっかけは、祖母が転倒したことにあります。高齢のうえに、運動不足で筋力が落ちていたんです。そこで、空手を応用したエクササイズで筋力のアップを図ることを目的に、テーマとして取り上げました」と、佐藤さん。タイトルに冠した7020は、70代と20代の年代を表現したもの。つまり、祖父母と孫のイメージで、地域の高齢者が孫世代の大学生と交流するという理想像が込められています。

空手エクササイズは一カ月間開催され、佐藤さんも指導役として参加。一緒に汗を流した高齢者の皆さんから、「楽しかった」、「また開催してほしい」という声をいただいたそうです。実際、空手エクササイズは、「身体の健康づくりにとどまらず、人と触れ合うことで、心の健康づくりに効果があった」と言います。また、その声を卒論に盛り込むことで、内容に厚みが出せそうだと、佐藤さんは喜びの表情を見せていました。

広報誌の作成に向けて

今回は意見交換会にとどまらず、「広報誌・北海道特別号」の作成も、本学の学



小笠原はるの先生



岩本正姫先生

生に依頼されています。この広報誌は主に高校生を対象としたもので、道議会としては、堅いイメージを払拭し、若い世代に地方自治に関心を持ってもらえる誌面にしてほしいという要望がありました。

この期待に応えるため、編集メンバーの一人となった佐藤翼さんは、「突然の依頼でしたが、発表した研究テーマが今後どのように行政に反映されていくか、見届けたい」と、思っていました。また、研究テーマが持続していくことも望んでいますので、次世代に伝えていける広報誌を作成したいですね」と意欲を見せています。

広報誌は3月下旬に発行が予定されています。「初の試みということで期待されているので、不安もありますが、他のメンバーと力を合わせ、議員の皆さんや先生のご協力も得て、良いものを作りたいと思っています」と佐藤翼さん。

学生の成長とともに、 地域活性化を促進する学びの追求へ

小笠原先生は、「今回の経験は単にイベントごととして終わらせるのではなく、持続的に学生の学びや地域の活性化に繋がっていくようなものになりたいですね。結果ではなく、学生と地域がどのように連携し、どのような試行錯誤を経て、今に至ったのか、そのプロセスを大切にしたい」と、本学と地域の将来的な発展に役立てたいと思います。私自身も発見と学びがありました」と言います。

一方、岩本先生は、「発表を終え、ゼミに戻ってきた佐藤くんは、一回り成長したように感じます。議員の方から指摘された問題点を修正したり、付け加えたり

てもらっても良いと思います。札大が西岡の貴重な地域資源になっていくことが重要だと感じました」とのこと。

佐藤歓典さんは、コロナ禍でリモートによる授業を経験してきた世代。その経験をプラスに、教室のない日や空き時間にも運動を継続してもらうために、YouTubeに手本となる動画をアップ。岩本先生は、「自分の経験から発想したアイデアで、運動する場へ通うという問題を解消する、大変素晴らしい取り

組みだと思っています」と、目を細めています。

小笠原先生は、今回の取り組みを一度だけのイベントとして終わらせたくないと言います。

「北海道議会との意見交換会は課外授業という括りですが、週単位で地域活動の時間を設け、正規の授業として採り入れている大学もあります。本学でもこうした地域と交流する機会を、より多く当たり前にしていくのが理想ですね。学生の学びと地域活性化が同時に図れる、本学は、そんな大学となるポテンシャルを十分に有しており、そこを目指していきたいと、私自身も改めて思いました。今後も積極的に地域と関わり、さまざまなことを学んでいきたい」と言います。

地域課題に向き合いながら、学生自身も大きく成長する。地域共創を学ぶ本学において、今回の取組はモデルケースともなり得る、大きな足跡となりました。



櫻井さん 意見交換会（きっかけびと）



佐藤歓典さん 意見交換会（空手エクササイズ）



佐藤翼さん 広報誌作成企画



意見交換会（きっかけびと）



意見交換会（きっかけびと）



意見交換会（空手エクササイズ）

令和6（2024）年度

課外活動への補助一覧

◆運動部

令和7年2月現在

サークル名	大会	期間	補助額
サッカー部	2024年度第48回総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント	9月3日（火） ～9月5日（木）	360,000
	第8回全日本大学サッカー新人戦	11月24日（日） ～11月28日（木）	600,000
	アットホームカップ2024年度 第22回インテンテンスリーグ 全日本大学サッカーフェスティバル	11月19日（火） ～11月21日（木）	360,000
	2024年第73回大学サッカー選手権大会	12月6日（金） ～12月18日（水）	735,000
スケート部	第25回大学アイスホッケー交流戦 苫小牧大会（全国大会）	9月11日（水） ～9月15日（日）	205,000
	第97回日本大学生氷上競技選手権大会	12月22日（日） ～12月29日（日）	250,000
チアリーディング部	第36回全日本学生チアリーディング選手権大会	12月20日（金） ～12月22日（日）	30,000
チアリーディング部 ・吹奏楽団	硬式野球部の明治神宮大会 代表決定戦および応援	10月8日（火） ～10月10日（木）	900,000
	第55回記念明治神宮野球大会応援	11月21日（木） ～11月22日（金）	140,000
ハンドボール部	令和6年度東日本学生ハンドボール選手権大会	8月6日（火） ～8月11日（日）	510,000
ラグビー部	第75回全国地区対抗 大学ラグビーフットボール大会	12月25日（水） ～12月31日（火）	315,000
弓道部	第72回全日本学生弓道選手権大会	8月21日（水） ～8月25日（日）	220,000
剣道部	第72回全日本学生剣道選手権大会・ 第58回全日本女子学生剣道選手権大会	6月27日（木） ～7月1日（月）	90,000
	第72回全日本学生剣道優勝大会	10月12日（土） ～10月15日（火）	170,000
	第43回全日本女子学生剣道優勝大会	11月8日（金） ～11月11日（月）	100,000
柔道部	全日本学生柔道体重別選手権大会	10月4日（金） ～10月6日（日）	240,000
	講道館杯全日本柔道体重別選手権大会	11月1日（金） ～11月2日（土）	20,000
	全日本学生柔道体重別団体優勝大会	10月18日（金） ～10月21日（月）	280,000
	第21回湊谷杯全国学生柔道 体重別選手権大会	11月14日（木） ～11月17日（日）	80,000
硬式野球部	第55回記念明治神宮野球大会	11月17日（日） ～11月22日（金）	520,000
準硬式野球部	第42回全日本大学9ブロック対抗 準硬式野球大会	11月14日（木） ～11月18日（月）	130,000
	三機サービス杯第3回全日本大学準硬式野球 東西対抗日本一決定戦	11月19日（火） ～11月22日（金）	40,000
女子 サッカー部	第78回国民スポーツ大会サッカー競技 【成年女子】	9月19日（木） ～9月24日（火）	350,000
	第46回JFA皇后杯 全日本女子サッカー選手権大会	11月23日（土） ～11月24日（日）	170,000
	第33回全日本大学女子サッカー選手権大会	12月20日（金） ～12月28日（土）	340,000
	大学女子サッカー地域対抗戦2025	2025年2月24日（月） ～2月28日（金）	25,000
男子 バレーボール部	第43回東日本バレーボール大学選手権大会 （男子富山大会）	6月24日（月） ～6月26日（水）	315,000
	全日本バレーボール大学男女選手権大会	11月24日（日） ～11月28日（木）	300,000
女子 バレーボール部	第43回東日本バレーボール大学選手権大会 （女子花巻大会）	6月18日（火） ～6月21日（金）	135,000
	2024年度第25回 西日本バレーボール学連選抜対抗戦	12月20日（金） ～12月22日（日）	15,000
卓球部	第93回全日本大学総合卓球選手権大会 （団体の部）	7月3日（水） ～7月7日（日）	400,000
	第93回全日本大学総合卓球選手権大会 （個人の部）	10月27日（日） ～10月30日（水）	200,000
	第20回全日本学生選抜卓球選手権大会	11月22日（金） ～11月24日（日）	45,000
	全農杯2025年全日本卓球選手権大会 （ダブルスの部）	2025年1月29日（水） ～2月1日（土）	120,000
	第64回大阪国際招待卓球選手権大会	2025年2月13日（木） ～2月16日（日）	160,000
男子 バスケットボール部	第76回全日本大学バスケットボール選手権大会	11月30日（土） ～12月5日（木）	520,000
女子 バスケットボール部	第2回全日本女子バスケットボール新人戦	7月7日（日） ～7月10日（水）	140,000
男子 バドミントン部	令和6年度文部科学大臣杯争奪 第75回全日本学生バドミントン選手権大会	10月10日（木） ～10月13日（日）	30,000
	令和6年度秩父宮・秩父宮妃杯争奪 第75回全日本学生バドミントン大学対抗戦	11月14日（木） ～11月17日（日）	165,000
女子 バドミントン部	令和6年度文部科学大臣杯争奪 第75回全日本学生バドミントン選手権大会	10月10日（木） ～10月13日（日）	30,000
	令和6年度秩父宮・秩父宮妃杯争奪 第75回全日本学生バドミントン大学対抗戦	11月14日（木） ～11月17日（日）	90,000
陸上競技部	第46回北日本学生陸上競技対校選手権大会	8月10日（土） ～8月15日（木）	825,000
	第93回日本学生陸上競技対抗選手権大会	9月18日（水） ～9月22日（日）	75,000
	第37回南部忠平記念陸上競技大会	9月28日（土） ～9月29日（日）	40,000
合計			10,785,000

【訃報】戸井敏夫監事がご逝去されました

後援会 監事の戸井敏夫氏（83歳）が、令和7年1月1日にご逝去されました。
10年間に亘り、当会の運営にご尽力いただきました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

令和7（2025）年度

キャンパスカレンダー

- 4
- 1日（火）入学式
- 春学期ガイダンス・オリエンテーション
[3月31日（月）～4日（金）]
- 5日（土）春学期授業（～8月5日（火））
- 5
- 6日（火）開学記念日
- 24日（土）オープンキャンパス
- 6
- 20日（金）大学祭（玄天祭）[～22日（日）]
- 28日（土）オープンキャンパス
- 7
- 26日（土）オープンキャンパス
- 8
- 6日（水）夏期休業[～9月17日（水）]
- 9
- 1日（月）春学期卒業発表
- 8日（月）秋学期集中講義[～13日（土）]
- 18日（木）秋学期ガイダンス・オリエンテーション[～19日(金)]
- 20日（土）春学期卒業証書・学位記授与式
- 22日（月）秋学期授業[～2月3日（火）]
- 10
- 11日（土）総合型選抜自己推薦選抜、
総合型選抜ウレシバ選抜
- 11
- 22日（土）総合型選抜自己推薦選抜(A日程)
・学校推薦型選抜指定校・特別選抜
社会人特別選抜、海外帰国生徒特別選抜[～23日（日）]
- 29日（土）オープンキャンパス
- 12
- 13日（土）学校推薦型選抜公募・総合型選抜自己推薦選抜（B日程）
- 24日（水）冬期休業[～1月6日（火）]
- 1
- 17日（土）大学共通テスト[～18日（日）]
- 2
- 5日（木）一般選抜（A日程）
- 3
- 2日（月）秋学期卒業発表
- 7日（土）一般選抜（B日程）
総合型選抜自己推薦選抜(C日程)
- 20日（金）秋学期卒業証書・学位記授与式
- 23日（月）総合型選抜自己推薦選抜(D日程)
- 28日（土）オープンキャンパス



入学式



オープンキャンパス(ストリートダンス部)



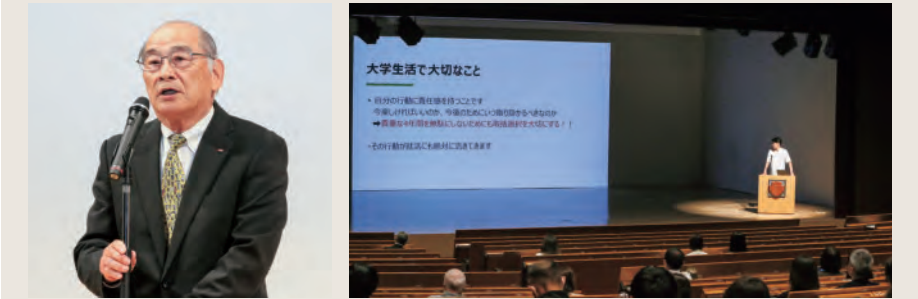
オープンキャンパス（ゼミ体験授業）



卒業式

令和7（2025）年度保護者懇談会（予定）

保護者懇談会では、大学への理解を深めていただくことを目的に、学生の修学状況、学生生活、就職状況等をご説明します。改めて開催案内をお送りしますので、ぜひご出席ください。



会長あいさつ

会場風景

場所	会場	開催日	開催時間
札幌	札幌大学	6／7（土）	保護者懇談会 11：30～14：00 後援会総会 10：00～
苫小牧	グランドホテルニュー王子	9／5（金）	18：00～20：30
青森	ねぶたの家 ワ・ラッセ	9／5（金）	18：00～20：30
室蘭	室蘭市生涯学習センター『きらん』	9／6（土）	14：00～16：30
岩手	アイーナ いわて県民情報交流センター	9／6（土）	14：00～16：30
函館	亀田交流プラザ	9／7（日）	10：30～13：00
宮城	TKP仙台青葉通カンファレンスセンター	9／7（日）	10：30～13：00
釧路	釧路ロイヤルインホテル	9／12（金）	18：00～20：30
北見	北見プラザホテル	9／12（金）	18：00～20：30
帯広	帯広市商工会議所 帯広経済センタービル	9／13（土）	14：00～16：30
旭川	大雪クリスタルホール	9／13（土）	14：00～16：30
札幌	札幌大学	9／20（土）	12：30～15：30